

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、「2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」および「競技会における広告および展示物に関する規定」ならびに本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。

2. 招集について

①招集所は第3ゲート内に設置する。

②各競技の招集開始時刻および完了時刻は、以下のとおりとする。（競技開始時刻を基準とする。）

トラック								
100m・300m・400m			800m・100mH 300mH・400mH			1500m		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
5～12	15分前	5分前	4	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前
13～20	5分前	5分後						
21～28	5分後	15分前						
29～	15分後	25分後						

フィールド			
跳躍競技		投てき競技	
開始	完了	開始	完了
50分前	40分前	30分前	20分前

③競技者は招集完了時刻までに招集所で競技者係の点検を受けること。その際、アスリートビブス、シューズ、スパイクの寸法と数、衣類やバッグ等の商標の確認を受けること。

④ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話およびこれに類似する機器など、承認されていないものは招集所・競技エリア内への持ち込みを禁止する。これらを持ち込んでいる場合、助力と見なされる場合がある。

⑤代理人による招集は認めない。ただし、強化委員に認められ、2種目以上同時に出場する競技者については、「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、最初の種目の招集完了時刻までに、本人が招集所へ提出すること。この際、2種目目以降で使用する競技用靴、アスリートビブスおよび腰ナンバー標識の確認を受けること。

⑥招集完了時刻に招集所にいない競技者は、当該種目への参加から除外され、欠場（DNS）として記録される。

⑦欠場する場合は、V-T I C（バーチャルTIC）内の「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに提出すること。 ※詳細は「11. V-T I Cについて」を参照（QRコードを記載）。

3. アスリートビブスについて

①アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、エントリー時に入力された登録番号で競技者が準備すること。

②800m、1500mについてはオーダー順の腰ナンバー標識を招集所で配付する。フィニッシュ後に係に返却すること。

③②以外の種目では、①と同じ番号の腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）を準備すること。

④アスリートビブス・腰ナンバー標識の安全ピンは各自で用意すること。

4. 競技エリア（FOP）への入場について

①招集所から競技役員の指示に従い競技場に入場すること。

②競技終了後は、競技役員やスタッフの指示に従い、退場すること。

5. トラック競技の抽選および番組編成について

①トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。

6. 競技について

〈共通〉

- ①競技結果については、場内スクリーンに表示し、アナウンスにより発表するとともに、「滋賀陸上競技協会大会結果速報サイト」に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示され、アナウンスされた時点を正式発表とする。
- ②競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ③主催者が設置したビデオ記録を用いて、判定を行うこともある。

〈トラック競技〉

- ①計時は、すべて写真判定システムを使用する。
- ②短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

〈フィールド競技〉

- ①距離の計測は光波距離計測器を使用する。（砲丸投を除く）
- ②走高跳の競技前練習は、試技順に「足合わせ1本」を行った後、事前に設定された高さで「公式練習2本」とする。
- ③走幅跳・三段跳の競技前練習は、試技順に「足合わせ1本」「公式練習2本」とする。
- ④男子三段跳の踏切板は、砂場から男子12m00の位置に設置する。
- ⑤フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。コーチングはコーチ席からのみ行うこと。
- ⑥フィールド種目における手拍子についてはTOP8以降で最終試技のみとする。高さ種目においては、おおむね3名以内になってからとする。
- ⑦フィールド競技における競技エリア（FOP）内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ⑧フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像を確認するために、コーチ席から録画再生機器等を手に取り、その付近で操作する場合に限り、競技区域への持ち込みを認める。また、メインスタンド前ピットおよびバックスタンド前ピットで実施される跳躍競技において、指定された場所でスタンドのコーチと競技者がタブレットやスマートフォン等を受け渡すことは可能とする。その際に使用する紐や袋等は、各チームで準備すること。受け渡し時には、事故等が発生しないよう十分にコミュニケーションを図り、安全面に最大限配慮すること。万が一事故等が発生した場合、主催者はその責任を負わない。
- ⑨サイドスタンドでは、コーチ席内から録画再生機器等を選手に手渡してもよいが、録画再生終了後すぐにコーチ席内に戻すこと。
- ⑩競技者は、競技役員の許可を得ず、また審判員の同行がない限り、競技進行中に競技場所を離れてはならない。

7. 走高跳のバーの上げ方について

- ①最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

走高跳										
種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
少年共通男子	1m55・1m85	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	3cm

※同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cmとする。

※天候等の状況により変更となることもある。

8. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- ②やり（日本陸連検定品かつWA認証品に限る）の検査を受ける場合は、競技開始の1時間20分前から50分前までに、フィニッシュ側倉庫へ投てき用具を提出すること。投てき用具には所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③WA認定品かどうかの証明は、本人がしなくてはならない。（認定シールまたはWAサイト情報にて）

9. 競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ②World Athletics (WA) が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認をしておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
（競技用シューズの承認状況 <https://certcheck.worldathletics.org/>）
- ③靴底の厚さについては、TR5及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- ④使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。

10. 練習について

- ①本競技場の練習時間帯は14:00～15:20とする。補助競技場の練習時間帯は14:15～19:00とする。
- ②本競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用し
てのスピード練習は禁止する。
- ③本競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、
8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンは
ジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備・片付けをすること。マット
および踏切板の使用は禁止とする。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。2階・3階スタンド通路、メイン競技場通路や駐車場
周辺でのウォーミングアップ（ジョグ、ダッシュ含む）は禁止する。
- ⑦補助競技場、室内練習場での練習は、競技役員の指示に従うこと。また、室内練習場は、短距離系のスピード練習と
長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は
使用不可とする。

11. V-T I Cについて

- ①「欠場届」と「記録証明書発行届」はV-T I C内の専用フォームから提出すること。
- ②記録証明書は発行手数料500円と引き換えにエントランスホールのT I Cで手渡す。



12. その他

- ①競技会における怪我の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。
- ②テントの設置は、メインスタンドおよびサイドスタンドでは禁止とする。バックスタンドについては設置を可とする
が、風で飛ばないように安全に設置すること。ごみは各自・各チームで持ち帰ることを基本とし、使用した場所は責
任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ③競技場外でのテントの設営を禁止とする。
- ④室内練習場は、練習時のみ使用すること。チーム待機場所を室内練習場内に常設することは一切禁止とする。
- ⑤横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりに限る。
- ⑥スマートフォン以外の機器で撮影を行う場合は、エントランスホールのT I Cにて手続きをし、撮影許可証を受け取
ること。許可証は首から下げて携帯し、退場時には必ず返却すること。また、大会で撮影した画像・動画等をSNS等
へ投稿することを禁止する。
- ⑦スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示等に従うこと。
- ⑧競技エリア内に、日傘や折りたたみ椅子など、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことは
できない。
- ⑨提出書類は下記のとおりとし、すべてT I Cにて受け取ること。なお、T I Cはエントランスホールに設置する。

	提出書類	提出先	提出時間
1	多種目同時出場届 *強化委員に認められた者のみ	招集所（競技者係）	第1種目の招集完了時刻まで
2	欠場届	V-T I C	各種目の招集完了時刻 30 分前まで
3	抗議申し立て（口頭）	T I C	正式記録発表後 30 分まで
4	上訴申立書（文章） （預託金 2 万円）	T I C	審判長公式裁定後 30 分まで
5	記録証交付願	V-T I C	競技終了後随時